

おじいちゃんのおこめが大ピンチ

六日いち小 二年 上山 ゆずき

四月四日、おじいちゃんお頭をぬう大けがをした。頭は何日おすると、なお、たようであんしんした。でも頭のきずがよくなったら、こんどは、こしおいたいといいだした。びょういんにいつてみると、こしのほねをあっぱくこっせつしたらしい。

それからは、おじいちゃんは、ねてぶすことが多くなった。今まで元気に牛かいをしたり、田んぼでおこめを作ったりしていたのに、こしおいたくて何もできなくなってしまうた。

わたしのいねでは、たくさんのおこめを作っている。まい年たくさんのおこめおじいちゃんのおいしいおこめをおいに来る。おじいちゃんかけがをしたので、今年のおこめ作りは、どうなるのかな、としんばいになった。

おとうさんは、いままでよりたくさんのごことをするようになった。おにいちゃんもい

ところみんなおてつだいをするので、わたし  
もでさることをしようと思った。わたし

わたしは、きょ年もやっただけであらうい  
をたくさん手つた。今年はおあさんが  
にしあげをしてもらわなくても、上手にあら  
えるようになった。三百はこいじょうであらう  
たと思う。みんなであらうと早くおわった。  
わたしは、おじいちゃんがおかした分、ま  
つたおりと考えた。

田うえをする時、おあさんがみんな分の

おひるごはんをつくる。十一日分のごはんを  
つくるのをわたしも手つた。わたしは、  
おにぎりをつくるのをかんぱった。みんなが  
おいしいと言ってくれそううれしかった。  
「おじいちゃんがおかした分、みんながき  
ょうかいで田うえをした。おいしいおこめが  
今年もでさそうだ。みんなにおいじいおこめ  
をさけるために、これからはお手つだいを  
かんぱりたい。そして、おいしいおこめをた  
べておじいちゃん早く元気になろう。ほい。